



目次

I 地域医療の現場より

～萩市見島診療所長 川崎 泰史 さんに聞く～

ページ

..... 1

II 山口の今！

- ◇ 空飛ぶ救命救急センター「ドクターヘリ」運航開始！
- ◇ 地域医療セミナー2011夏 in 萩
～維新の町・萩を舞台に山口大学と自治医科大学が共同開催！
- ◇ 東日本大震災での山口県DMATの活動

..... 4

..... 5

..... 6

III 県からのお知らせ

- ◇ 『やまぐちドクターネット』を御覧ください！
- ◇ 高校生のための医療現場体験セミナー2011 in 岩国 開催！
- ◇ 「山口県地域医療研修コース」が始まりました！
- ◇ 女性医師の支援に取り組んでいます！
- ◇ 自治医科大学医学部の入学志願者募集！
- ◇ 山口県第11次へき地保健医療計画が策定されました！

..... 6

..... 7

..... 8

..... 8

..... 9

..... 10

* 本誌の継続発送を希望される方へ 一申込方法など一

..... 10

萩市 見島
(見田海岸へ抜ける農道)

見島は萩市の沖合45kmの日本海海上にある島で、山口県最北端となります。朝鮮半島に近いことから、早くから大陸との交易の中継地として文化の流入があったものとみられ、また防人が置かれたこともあります。島内には、こうした島の長い歴史を物語るジーコンボ古墳群をはじめとする史跡が多く残されています。

I 地域医療の現場より

萩市見島診療所長 川崎 泰史 さん

第11回の「地域医療の現場より」では、自治医科大学卒業後、6年目で萩市見島診療所に着任された、川崎泰史さんです。

川崎先生の見島診療所での診療や今後の抱負について伺いました。

プロフィール

かわさき やすふみ

川崎 泰史 (31)

小野田市 (現 山陽小野田市) 出身

平成10年 県立宇部高校卒業

平成17年 自治医科大学卒業後、

県立総合医療センターにて初期研修

平成19年 下関市立豊田中央病院

平成21年 県立総合医療センターにて後期研修

平成22年 現職



interview

【Q】

川崎先生が医師になろうと思った動機や地域医療に興味をもたれたきっかけなどがあれば教えて下さい。

【川崎先生(以下「川崎」)】

中学生の時、父親が胃がんの手術を受けて元気になったことが素直にうれしかったです。患者さんの家族も含めて幸せにできるという医師の仕事にあこがれを持ち、医師を目指したのがきっかけです。医師を目指したときに家庭医を想像したため地域医療に興味を持つようになりました。

【Q】

見島で生活され診療されていて感じることや地域や患者さんの特徴などありますか。

【川崎】

時間がゆったりと流れている感じがします。島民の方の多くは日の出とともに起きて、日の入とともに寝るといった感じです。

患者さんの中には17時ごろには夕食を済ませ、18時ごろには入眠するという方もいらっしゃいます。

また、漁師さんは朝早くから仕事されるため昼間に飲酒されることも驚きました。時々酔っぱらったまま受診される方もいらっしゃいます。

このように本土に住んでいた時には遭遇しなかったことが多くありました。

患者さんの特徴としては、やはり高齢者が多いことです。ただし、少ないですが島内に航空自衛隊の駐屯地があるため自衛隊の隊員のお子さんや若い方が受診されることもあります。

移動は大変不便です。定期船は多い時でも1日4往復で、島外に出るのは14時半ごろが最終となります。そのため救急患者さんはヘリコプターや漁船などで搬送することもあります。平成23年1月からは山口県のドクターヘリも要請可能となり、搬送の手段が増えています。島民の方もその辺には関心が高いのではないのでしょうか。

不便なこともたくさんありますがそれも含めて故郷と感じて住んでいらっしゃるんだと感じます。



ドクターヘリ運航開始前訓練

利用する際の手順確認のため実際に機体を確認し装備の説明や搬送までの時間や搬送病院について救急担当医師より説明をしていただいているところです。



見島診療所・歯科診療所スタッフ
平成22年6月1日より建て替わった診療所での診療がスタートしました。

【Q】

先生の診療上のモットーとされていることなどがあれば教えて下さい。

【川崎】

予防できる疾患は予防するということに気をつけています。何の疾患でも治療するには時間がかかるし、悪化するかもしれないリスクを負うことになるからです。避けられるなら避けるのが患者さんの為になると信じています。

ただし、人間ですので何かの疾患にかかることもあります。その場合には早めに治療を開始したり、入院を勧めたりして重症化するのを防ぐよう気をつけています。日常の診療の中でちょっとした異変に気付くよう注意しています。

【Q】

先生が診療していて「楽しい」と感じる局面、あるいは「つらい」と感じる局面などがあれば教えてください。

【川崎】

楽しいという言葉は不謹慎な感じがしますが、患者さんを適切に診断し治療できた時や、適切な診断で適切な時期に専門医へバトンタッチできたときに達成感を感じることがあります。

また、少しずつ自分の医療の幅が広がっていくことが実感できた時には嬉しいですね。

つらいと感じることは一人で悩まなければならない時です。同僚や専門医がそばにいれば相談してより早く、より適切に判断することができるのになあと歯がゆく思うことが多くあります。悩んでいる時間は患者さんを苦しめているのではないかと思うこともあります。



見島北灯台(長尾ノ鼻)

ここからは、太陽が、水平線から昇り、水平線に沈むのを同じ場所から見ることができます。全国でも数少ない場所です。山口県の最北端の地にあたります。

【Q】

先生の診療の支えになるものは何でしょうか。

【川崎】

自治医科大学の先輩方が築いてきた医療をしっかりと継続し、発展させる義務があると考えていることです。



見島



宇津

【Q】

今後の抱負やこういう診療をしていきたいと思われることがあれば教えてください。

【川崎】

何か軸となる専門分野がありつつ、子どもからお年寄りまで幅広く診ることができる医師になれるよう努力したいです。



本村

【Q】

若い読者(これから医療の仕事をしたいと思っている人や、医学生など)にメッセージをお願いします。

【川崎】

現在の日本の医療は細分化され、臓器別に専門医が多くなる時代です。しかし、高齢者になればなるほど多くの疾患を抱えることになり、多くの専門医にかかる必要が出てきます。

また、症状から臓器が特定されない場合はどの専門医を受診していいか判断できないことも多くあると思います。

患者さんを総合的に診て、しっかり治療を行いながら、適切な時期に専門科へバトタッチできる医師を目指すことも素敵な事ではないでしょうか。



見島診療所・診察室にて
平成22年6月に建て替わってから広く使いやすくなりました。

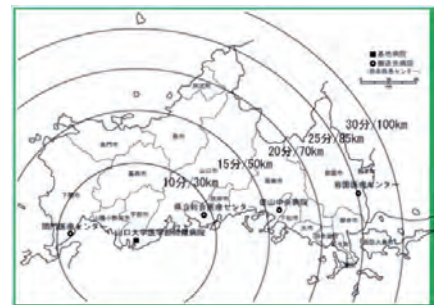
II 山口の今！

◇ 空飛ぶ救命救急センター「ドクターヘリ」運航開始！

平成23年1月21日から、山口大学医学部附属病院を基地病院として、「ドクターヘリ」の運航が開始されました。ドクターヘリとは、救急医療用の医療機器等を装備し、専門の医師と看護師を救急現場にいち早く運び、直ちに医療を開始した後、高度な医療機関に患者を搬送する救急医療専用のヘリコプターです。

全国で24機目の導入であり、山口県のほぼ全域を30分到達圏内に網羅しています。

山口県は、県土の7割を中山間地域が占め、多くの有人離島を有するといった地理的特徴があることや、救命救急センターがいずれも山陽側に配置されていることから、ドクターヘリを活用し、より迅速な救急医療や適切な高度医療の提供を行うことにより、救命率の向上や後遺症の軽減が期待されます。



ドクターヘリの出動範囲



ドクターヘリ



離島での
ドクターヘリ
出動訓練に
おける住民
への説明

◇ 山口県地域医療セミナー2011夏 in 萩
 ～ 維新の町・萩を舞台に山口大学と自治医科大学が共同開催！

「山口県地域医療セミナー2011夏 in 萩」が平成23年8月18日から3日間、萩市を舞台に開催されました。

地域医療セミナーは独立行政法人山口県立総合医療センターへき地医療支援部・山口大学医学部地域医療推進学講座・自治医科大学地域医療学センターが主催するもので、昨年に引き続き、自治医科大学の夏期研修との共同開催として、両大学の学生が合同で地域医療の実習を行いました。

セミナーは、主に本県出身の自治医大卒業生が勤務する病院・診療所など、萩市内の19か所の医療機関を実習施設として山口大学医学部生12名、本県出身の自治医科大学生12名が参加しました。両大学の学生がペアとなり、各医療機関の先生方の指導のもと実習を行い、互いに刺激しあい、協力しあい、地域医療の魅力を存分に味わったようです。

2日目の夜には萩市医師会長及び萩市医師会関係者・萩市長・山口県担当者等関係者との懇親会が、3日目には各医療機関での実習に関する報告会が行われました。

参加医学生からは「理想とする医師像を見つけられた」「萩で地域医療に携わりたい」等の声が聞かれました。



外来診療や訪問診療のほか
 BLS講習会にも参加しました



学生同士、病院・診療所のスタッフとの
 交流も楽しみの一つです



山口大学医学部福田教授から
 参加学生に参加証が授与されました



2日目 関係者との懇親会で記念撮影

- (協力施設)
- 萩市民病院・都志見病院
 - 玉木病院・萩慈生病院
 - 萩むらた病院
 - 見島診療所・大島診療所
 - 川上診療所・福川診療所
 - むつみ診療所
 - 弥富診療センター
 - 河野医院・かねた医院
 - わたぬきクリニック
 - 中嶋クリニック・めづき医院
 - なかむらレディースクリニック
 - 山本内科胃腸科・波多野医院
 - 相島文化センター

◇ 東日本大震災での山口県DMATの活動

3月11日に発生した東日本大震災に対応し、全国からDMAT (Disaster Medical Assistance Team (災害派遣医療チーム)) 約340チーム、約1,500名が災害医療にあたりました。

山口県からは県立総合医療センター、山口大学医学部附属病院、徳山中央病院、関門医療センターのDMAT・5チームが出動しました。

3月12日の未明に各病院を出発した各DMATは専用移動車両で大阪の伊丹空港に向かい、そこから自衛隊の輸送機で、岩手県花巻空港に到着しました。

花巻空港内に設置された臨時の医療施設(SCU)で被災地から運ばれてくる傷病者のトリアージや治療を行う一方で、被災地内の病院に入り病院支援にあたりました。

また、山口大学医学部附属病院からDMATがドクターヘリに乗り込み、被災地内の病院から患者や医療スタッフの搬送を行い、3日間の活動を終え、3月15日に帰路に着きました。

DMATは阪神・淡路大震災での反省により発足されました。今回の大災害での教訓を活かし、DMATの活動の更なる発展が期待されます。



岩手県花巻空港内・臨時医療施設(SCU)での活動

III 県からのお知らせ

◇ 『やまぐちドクターネット』を御覧ください！ 医師確保総合情報サイト

山口県医師確保総合情報インターネットサイト『やまぐちドクターネット』では、県の医師確保対策をはじめ、地域医療に関するトピックスや県内医療機関の情報を掲載しています。

本誌(バックナンバー含め)も掲載しているほか、このサイト上で会員登録をいただいた方には、現場で活躍する女性医師や研修医の方々のエッセイ等を紹介するメールマガジン「やまぐちドクターネット通信」を隔月配信しています。

是非、一度御覧下さい。

⇒ <http://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp/>



◇ 高校生のための医療現場体験セミナー2011 in 岩国 開催！

「高校生のための医療現場体験セミナー2011 in 岩国」が岩国市医療センター医師会病院にて開催されました（主催：山口大学医学部地域医療推進学講座、共催：岩国市医療センター医師会病院、後援：山口県・山口県医師会・岩国市医師会・社団法人霜仁会）。

高校生22名（県外含む）が参加し、医師や医学生による指導を受けながら、基本的診察（血圧測定など）、採血・縫合（シミュレータによる）、腹部超音波、救命処置等の医療体験を行いました。また、病院見学、医師による講話、病院食の試食、医師・医学生とのQ&Aを通じて、普段の生活ではなかなか見聞きできない医療の世界に触れてもらいました。

これを機会に、将来の医療を担う若者が一人でも多く育っていくことを期待します。将来の山口県の、日本の、世界の医療を背負うであろう高校生たちの姿は、とても頼もしく、微笑ましく映りました。



医師と医学生への質問コーナー



腹部超音波体験「腎臓はどこかな？」

流行りのカラスクラブを来て、ドクター気分♪ まずは外見から…



血圧測定



人工皮膚を使った縫合体験



病院食の試食



22名の参加高校生が、佐々木医学部長(山口大学)、内山院長(岩国市医療センター医師会病院)ら、関係者と記念撮影

次回は10月8日（土）下関（国立病院機構 関門医療センター）にて開催します。

◇ 「山口県地域医療研修コース」が始まりました！

今年度から開始された「山口県地域医療研修コース」に11名の研修医が参加しました。このコースは、医師臨床研修における地域医療研修が1ヶ月間となったことに伴い、山口県の地域医療研修をより充実させようと、萩及び周防大島・平郡の2地域でモデル的に実施されているものです。

山口大学医学部附属病院、山口赤十字病院、宇部興産中央病院から、それぞれ9名、1名、1名の計11名の研修医が、5～9月の各1ヶ月間、主に両地域の公的医療機関で研修を行いました。

対象となる疾病、患者さんの年齢層、医療の内容など、それまで研修してきた基幹病院とは異なる医療事情は、研修医の方にはとても新鮮だったことでしょう。

このコースが、若い医師の地域医療への関心と“地域医療マインド”を高める機会になることを期待しています。

なお、来年度は、下関（豊田）、美祢、長門での研修コースが加わる予定です。研修医の皆様、1ヶ月間ではありますが、地域医療の魅力を堪能して下さい。



萩コースの萩市国保川上診療所で研修を行う前田貴子先生(写真中央)（山口大学医学部附属病院 研修医）

◇ 女性医師の支援に取り組んでいます！

山口県では、平成21年度から山口県医師会に委託して、出産・育児に不安を抱える女性医師の多様なニーズに応じ、保育サポーターや保育所等の情報提供や仕事と家庭の両立に向けた相談対応等を行う相談窓口を設置し、女性医師の離職防止・再就業促進を図っているところです。

相談窓口では、保育相談員の崎里さんが様々な相談に対応されています。

保育相談員崎里さんからのコメント

相談対応は、保育サポーターによる支援案件がほとんどです。保育園の迎えに間に合わない時のお迎えとその後の預かり、学校から帰ってくるお子さんを女性医師宅で待ち受けて見守り、併せて少しの家事などです。支援を受けていらっしゃる先生方は口をそろえて「助かっている、有難い。」と言われ、サポーターさん方は「少しでも役に立てて、喜んでいただけることが嬉しい。」と話されています。

窓口が設置されてやっと2年。まだまだ十分に浸透しているとは言い難いかもしれません。とにかく、何でも相談されることから始まります。微力ながら、何とかお役に立ちたいと思っています。是非、気軽にお電話、メールをお寄せ下さい。

御連絡をお待ちしています。

電話 090-9502-3715（月～木 9:00～17:00）

メール hoiku@yamaguchi.med.or.jp

◇ 自治医科大学医学部の入学志願者募集！

自治医科大学は、へき地等における医療の確保向上及び地域住民の福祉の増進を図るため、全国の都道府県が共同して昭和47年に設立した地域医療を支える医師（総合医）を育成する私立の医科大学です。

昭和53年から本年度までに67名の本県出身卒業医師がおり、今日まで、本県地域医療の第一線などで活躍されています。

<募集人員>

山口県からは2名ないし3名が選抜される見込みです。

自治医科大学医学部 山口県説明会

日時 平成23年10月22日（土） 13時30分～15時30分

場所 山口グランドホテル（3階末広の間）

山口市小郡黄金町1-1（新山口駅新幹線口正面）

電話：083-972-7777

対象者 県内高校生（全学年）・予備校生・保護者
進路指導担当教員など

※ 参加費無料（会場までの交通費はご負担ください）

※ 当日の会場準備等の都合上、あらかじめ10月12日（水）までに
山口県地域医療推進室まで申込みください。

内容 自治医科大学の紹介（受験変更点）

現場医師、現役学生からのメッセージ、意見交換

<選抜試験の期日及び試験場>

区分	第1次試験	第2次試験
試験日	学力試験 平成24年1月23日（月） 面接試験 平成24年1月24日（火）	小論文・面接試験 平成24年2月2日（木）
試験場	山口県庁	自治医科大学 （栃木県下野市）
合格発表	平成24年1月27日（金）	平成24年2月10日（金）

<願書受付期間>

平成24年1月4日～18日午後5時必着（1月17日（火）消印有効）

<願書提出（問い合わせ）先>

山口県健康福祉部地域医療推進室（担当：縄田）

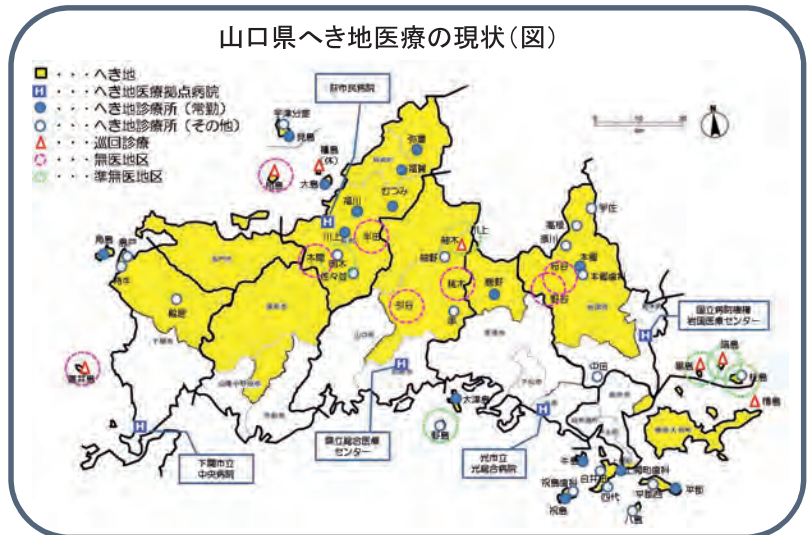
〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

電話：083-933-2937

◇ 山口県第11次へき地保健医療計画が策定されました！

山口県では、へき地医療の確保に関する取組の一層の推進を図るため、地域の実情を踏まえ、新たに平成23年度から27年度までの5年間に計画期間とした「山口県第11次へき地保健医療計画」を策定しました。

計画の内容については県ホームページで公表しておりますので、御覧ください。



⇒ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a151001/hekichi/11thkeikaku.html>

「山口県地域医療の風便り」の継続発送を御希望の方へ

継続発送申込書

山口県健康福祉部地域医療推進室 行
(FAX 083-933-2939)

この申込書に必要事項を記入して、山口県健康福祉部地域医療推進室あてにFAX(083-933-2939)をお願いします。

※FAXの際は、この面をそのまま送信いただいて結構です。

※Eメールでの申込みは、件名を「山口県地域医療の風便り継続希望(医師確保)」とし、申込者の氏名・年齢・住所(送付先)・郵便番号を記載して、地域医療推進室のメールアドレスに送信ください。

E-mail : a151001@pref.yamaguchi.lg.jp

氏名	(歳)
住所 (送付先)	(〒 —)

★ 本誌は「やまぐちドクターネット」でも見るができます。
<http://www.y-doctor.med.yamaguchi-u.ac.jp/publication/index.html>



発行所 山口県健康福祉部地域医療推進室

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

電話：083-933-2937

FAX：083-933-2939

E-mail：a151001@pref.yamaguchi.lg.jp

URL：<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a151001/index/>